

# 国宝と現代の名匠三右衛門

今泉今右衛門

酒井田柿右衛門

中里太郎右衛門



令和5年 10/1 日 ~ 令和6年 2/4 日  
宗像大社神宝館

9:00~16:30(最終入館16時)

一般 800円、高大生 500円、小中生 400円

※12月4、5日は展示替えの為閉館します。



有田焼の今泉今右衛門、酒井田柿右衛門、唐津焼の中里太郎右衛門。歴史の深い窯を受継ぎ「肥前の三右衛門」といわれる三大名跡です。いずれも失われたかつての技術の復興を成し遂げる一方で、時代の流れを受け止め革新的な作品を創出し続けています。宗像は太古より大陸との交流の窓口として繁栄してきました。宗像大社の創建は古く『日本書紀』には宗像三女神の誕生とともに「歴代天皇を助ければ、歴代天皇に祀られる」とあり、宗像は外交、通商、国防において重要な役割を果たしました。歴代天皇の祭祀をしのばせる神の島「沖ノ島」から出土した8万点に及ぶ国宝の数々。なかでも日本で最初に作られた多彩釉陶器「奈良三彩小壺」は、天皇による神祀りとの深いつながりを示すものです。九州には、5世紀に朝鮮半島から新たな技術がいち早く伝わり、須恵器の一大生産地だった宗像の窯で焼かれた多種多彩な器が沖ノ島からも出土しています。本展では、伝統と創意の融合から生まれた至宝ともいえる「三右衛門」の作品と、沖ノ島に捧げられ敬虔な信仰により守られてきた荘厳優美な国宝が一堂に集います。時代を超えた国宝と匠の共演。秘められた技、洗礼された美をかつてないスケールで体感いただけます。



### 14代 今泉今右衛門

昭和37年 佐賀県西松浦郡有田町に生まれる。  
 昭和60年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科(金工専攻)卒業  
 平成2年 父・13代 今右衛門の許、家業に従事  
 平成10年 日本伝統工芸展 日本工芸会会長賞を受賞し、正会員に推挙される  
 平成14年 14代 今泉今右衛門を襲名  
 平成21年 紫綬褒章受章  
 平成26年 重要無形文化財「色絵磁器」の保持者に認定  
 令和2年 日本工芸会 副理事長に推挙される



色絵薄墨墨はじき柘榴文蓋付瓶  
14代今泉今右衛門 2011年



### 15代 酒井田柿右衛門

昭和43年 佐賀県有田町に生まれる。  
 平成6年 14代酒井田柿右衛門に師事。  
 平成22年 第45回西部伝統工芸展にて初入選、第57回日本伝統工芸展にて初入選。  
 平成25年 国・重要無形文化財保持団体「柿右衛門製陶技術保存会」会長に就任。日本工芸会正会員となる。  
 平成26年 2月4日、15代酒井田柿右衛門襲名。  
 現在 日本工芸会西部支部常任幹事、佐賀県陶芸協会副会長、有田陶芸協会副会長、日本陶芸美術協会幹事。



濁手藤文水指  
15代酒井田柿右衛門 2020年



### 14代 中里太郎右衛門

昭和56年 武蔵野美術大学同大学大学院修了  
 平成2年 第22回日展「焼締90」特選受賞  
 平成14年 14代中里太郎右衛門を襲名  
 平成18年 天皇皇后両陛下、唐人町御茶盃窯及び工房御視察  
 平成19年 日本工芸会正会員  
 平成22年 佐賀県陶芸協会副会長  
 平成23年 唐津市政功労者表彰  
 令和02年 中里太郎右衛門陶房敷地内に御茶盃窯記念館開館



彫斑唐津茶鉢  
14代中里太郎右衛門 2019年

(表面の作品は右より)

色絵吹墨墨はじき雪文翡翠香炉 14代今泉今右衛門 2019年 /  
 濁手藤文花瓶 15代酒井田柿右衛門 2023年 /  
 唐津三彩小壺(奈良三彩小壺復元作品) 14代中里太郎右衛門 2017年 /  
 国宝 三角縁三神三獸鏡 伝沖ノ島出土4世紀

公共交通機関をご利用の場合

・JR博多駅から東郷駅 快速約30分、JR小倉駅から東郷駅 快速約40分  
 ・東郷駅から宗像大社までのバス

JR東郷駅北口下車、神湊波止場行きバス(宗像大社経由)で宗像大社前まで約12分

お車でお越しの場合

・九州自動車道 若宮インターから約20分 古賀インターから約25分

## 宗像大社神宝館

〒 811-3505 福岡県宗像市田島 2331 TEL 0940-62-1311

www.munakata-taisha.or.jp

